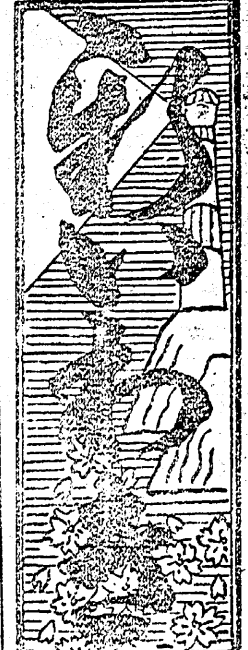


刊夕 日一十三月二十



年頭感懐を新たに

輝かしき紀元二千六百年の新春を祝し奉る、皇軍征支の武勳ますます高く、神道崇國の精神を休して起つ聖戦に瑞光見ゆ、皇統千代萬世限りなく國威彌榮ふ、年頭遙かに宮城を拜し奉り併せて戦死將士に對し感謝の默禱を捧ぐ、しかして世界無比の皇國に生れたるを欣ぶ、同時に戦火未だ収まらぬ我が國有史以來の國難に處し斷じて史上に汚點を染めざらんことを誓ふ。

願みれば皇軍の戦果に漸く曙光を見せ第三國の援護工作若干緩和されつゝありとは云へ未だその跡を絶つに至らず、守成甚だ易からざるもの多し、加ふるに防共の有邦ドイツは突如ソ聯と與んで不可侵條約を締結し獨逸の紛争を模範として歐洲の天地は再び戦雲に蔽はれ複雑微妙變轉極まりなき國際情勢は勢の趨くところ測り知れず、此の間にある邦家の決意は飽くまで自守自重、支那事變の處理に邁進せんとす。

支那事變ハ我國有史以來ノ國難テアリ新東亞ノ建設ハ曠古ノ聖業ナル、斯ノ聖業ノ真最中ニ皇紀二千六百年ヲ迎ヘコノ年ニ於テ帝國カ支那事變處理ト國際情勢ノ轉移トヲ

年頭感懐を新たに 時局重大の再認識

平市長 青沼謙太郎

光輝燦然タル紀元二千六百年ノ新春ヲ迎ヘ茲ニ恭シク聖節ノ無窮ト竹ノ園生ノ彌榮ヲ祈キ奉リ併テ皇軍ノ武勳長久ヲ祈願シ護國ノ英靈ニ無限ノ感謝ノ意ヲ捧クルト共ニ傷病勇士ノ平癒ヲ念願シテ已マサル次第ナル

謹賀新年

昭和十五年 一月一日 新いわき新聞社

變處理ト國際情勢ノ轉移トヲ繞ツテ帝國國運ノ飛躍的進展トヲ期スルコトハ洵ニ意義ノ深イ年ナルト申サネハナリマセン

遊びに行くことをコナンチユイ、散歩は溜邊でリウタ、車を雇ふことを雇車でクウチエーと云ふことはトオカイでめん下さいは借光でチエコアン、待つは掌でナイ、打は打でター

恭賀新禧 立憲政友會 幹事長 福島縣支部 縣會議員 小野清

平市助役 伊藤秀吉 石城郡大浦村長 木方清池

石城郡町村長會 植田町長 方川道一

石城郡學校長會 平運輸株式會社 有限責任信用組合 平庶民金庫 平市料理屋組合

手美容院 塚 平市新田町

渡邊鐵工場 渡邊秀之 平市大町二七 電話五六四番

平看護婦會 長會 野清ヨキ 電話三七〇番

萬年筆專門店 岡萬年筆製作所 平市十五丁目

石城・平市 藝妓屋組合 大平陸四郎 電話五七番 勿來町 平市七丁目 工藤源吉

### 書留は増加したが 年賀郵便は大減少

#### 贈答の手控で小包も減る

平局の年賀郵便取扱は軍 逆に減少した、これに反して 事方面が多いので昨年より五 書留、價格表記類の特殊郵便 割ぐらゐる増加と見られたら 大部分が同方面へ向くもの だけで總數に於ては

引受二一四五八(四九五六  
二)五割七分減、到着一二  
五二〇(二〇七三)四割減  
繼越一一九九七(一〇一  
八九〇)一割八分増、括弧  
内は前年

で繼越は區域の擴張から當然 の増加を見たが局引受並に到 着では増加の豫想高を其ま

### 平市の工業學校建設 實現は困難の模様

#### 豫定額にならぬ特殊寄附

既報舊曆二十七日の平市會は 豫算の更正(燃料騰貴による 市營火葬料の値上げ)その他 を附議決定の後資金難の懸立 工業學校建設につき初期計 費七十九萬餘圓を得ることは 困難の爲め電氣科の設置を他 日に繰延べ六十五萬圓とした るも尙ほ寄附内諾の現在高三 十一萬圓に過ぎずこれへ市債 十萬圓を仰ぐとしても四十一 萬圓な譯で三井榮一氏の再寄 附を交渉したが快諾を得るに 至らず同氏からの回答をまつ て今一月中にも再び市會を開

### 平第一の卒業生 市の統後へ寄附

平第二小學校の本年度卒業生 一同はクラス會の費用を節し て得たる二四十八圓を福本ふ み子さん代表で市の統後奉公 會へ寄附した



既報舊曆二十七日の平市會は 豫算の更正(燃料騰貴による 市營火葬料の値上げ)その他 を附議決定の後資金難の懸立 工業學校建設につき初期計 費七十九萬餘圓を得ることは 困難の爲め電氣科の設置を他 日に繰延べ六十五萬圓とした るも尙ほ寄附内諾の現在高三 十一萬圓に過ぎずこれへ市債 十萬圓を仰ぐとしても四十一 萬圓な譯で三井榮一氏の再寄 附を交渉したが快諾を得るに 至らず同氏からの回答をまつ て今一月中にも再び市會を開

### 感謝状

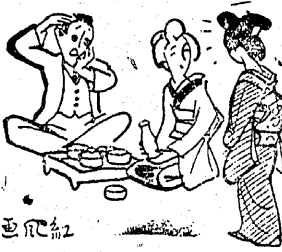
平市番越趾寄附太田氏及び 篠山藤、小田吉治兩氏は郵便

### 平局の窓口の動き

#### 爲替も貯金も激増

#### 軍需景氣が物語る活況

石城地方に於ける軍需好況に による銀行その他の金の動きは 年末金融で既報したが舊曆十 日間(二十日から廿九日)の平 局に於ける窓口(爲替貯金)に も其れが裏書されて爲替の振 出八五六〇三萬一千八百九十 九圓九十五錢は昨年の九一〇 二萬三千三百七十七圓六錢よ り八千五百餘圓、同拂渡一〇 四五〇七萬三千六百九十七圓 三錢は前年の一〇〇一〇六萬 一千六百八十八圓八錢に比し 一萬二千五百十圓餘を共に増 加し貯金では左記の如く窓口 の受拂差引に昨年より劣りを 見せてはゐるが動きが大きい のと今年はず掛、集金の類が



春のめづめは 島田なり

### 思ひまゝに

#### 大森 勇

下痢患者の多い時、そつちで もこつちでも看護婦さん便器 と呼ぶ。看護婦はハイと答へ て便器を持つて行くのだが、 甲が終らぬ中に乙に呼ばれる 乙が終らぬ中に丙に呼ばれる 丙が終らぬ中に丁に呼ばれる だ。看護婦は朝から晩迄便 器を持ち続けなければならぬ のだ。當時便器と心中するの だと云ふ言葉が流行したが、 全く言葉通り便器と心中して

### 木炭講習

平市農會では木炭飢饉の緩和 策に市内平野方面の農家へ自 家用木炭は各自の手で造るや う木炭同業組合佐藤指導員 を講師に聘し来る五日から一 週間上平窪、中鹽兩部落に於 て木炭製造講習會を開催する

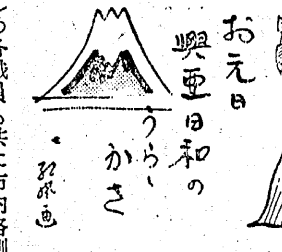
### 石炭百五十噸

#### 三千圓を窃取

五人共謀で 石城郡赤井村の喜美山炭礦事 務員櫻田務(三三)同く半澤留 次郎(四三)及びトラツク運轉手 平市宇平(三三)同平市録田 井村録木茂平(三三)同平市録田

### 青年鐵道自殺

明倫中學生 石城郡豊間村の原町録木ひさ 長男利秋(二六)は千葉市明倫中 學に在學中であるが去月廿七 日未明常磐線泉澤北方信號附 近で列車に飛び込み自殺をな した母に宛た遺書に「お先き に失禮します」とあるが神経 衰弱が原因らしい



おえり

### 樂書消の奉仕

卅日市内全部に 平第一小學校では去月三十日 全校生徒を居宅最寄りに集合

### 謹賀新年

貴族院議員  
諸橋久太郎

縣會議員  
木村守江

平土木監督所  
所長 須藤清藏  
外職員一同

平職業紹介所  
所長 立澤高元  
外職員一同

福島縣農産物検査所平支所  
所長 長澤市郎  
外職員一同

縣林産物検査平支所  
所長 立花種久  
外職員一同

正木醫院  
醫學博士 正木信功

木炭問屋  
草野米彌商店  
磐越東線小川郷驛前

### 戰地の便り

平警察署出身 相樂 薫

## 滿ノ國境様の地で 時々飛來る敵弾

拜啓、戦地と内地との最初の通信である御手紙十二月七日(十一月十二日付)正に頂戴致し早速拜見致しました、厚く御禮申し上げます、一字一画で御座います、度毎に内地に於て御世話様に成つた其の日々の生活が眼前に浮び本當に懐しく御座います、月日の過つのは早いもので早くも満三ヶ月にならんとして居ります、此の順なれば戦地より歸還し再會してまた御世話様になつて面白く暮らすことの出来得ますことは君國に捧げた体が無事であればそり大して長いものでないかと考へられます、何分通信が不便にて閉口致します、叔母さんには非常に御世話様に相成りました、宜しく御願ひいたします、内地は大分お寒くなつた事でせう、炬燵に入りながら雑談に更けりゆく夜を落花生など御馳走になつたことなど今更ながら懐しく次から次へ回想が出て來ます、戦地にも寒い、冬が訪れて参りました、相樂の好きな落花生は相當にありますが其れを食べながら思ひ出すのは昨年の今頃の生活であります、本當に相樂のこれ迄の生涯中に於てあなた様方に御世話に成つて暮した事は一番印象が深い御座います、また珍らしき寫眞を御送り下さりまして有難う御座います、×印は確實に小生であります、彼の様に於て〇月〇〇



日〇〇を出発したのでした途中御手紙をと思ひました「途中通信」は禁じられて居り且つ分隊長(〇名)また〇〇港では宿舎長(〇〇名)の重任を負はされたものですからなか／＼暇がなからぬに失禮致しました次第です、現在相樂の居る部隊

其の朝報讀して食ふ仕末です、本當に日本國と比較すれば雲泥の差で御座います、だが治安維持の方だけは我が軍の手によつて日一日と改まるのが見えて楽しくあります、いま十年や廿年では失張り獨り手では立ち難いこととせう、先づ問題は教育かと存じます、御手紙によれば慰問袋を御送り下されたとの事有難う御座います、そのうち到着するまでせう、相樂も内地に居る時は甘黨と云ふではなかつたが労働する關係が相當

### 非常時は常時だ 長期戦に女青講習

相馬郡では戦後婦人のつづき心構へに中堅女青の講習會を舊臘廿五日から廿八日まで三泊四日間に中村町實踐女學校に開催、矢部本縣社會教育主事その他講師に四十五名の講習生を二班に分け朝の修養から事務下型の婦人講習に勤勞体操、料理、自治講演など長期戦に處する非常時の覺悟は常時の決心であらねばならぬ町村婦女子の指導的立場に立ちしむやう中堅女青の訓練を行つたが時局に應はしい講習で受講者今後の活躍を大に期待されてゐる

### 迎新年詠

平瀧町 佐川滿壽莊  
拜啓、御不沙汰いたしました申謝ありませぬ、本年は何やら筆が進まず送歳の辞も迎年の詞も出来ませぬ申謝まで左に狂詠一首、  
【送昭和十四年卯歳の辭】  
戦争にカチ／＼山で國勢は跳



正月の映画  
三十一日より五日間  
平館 ◎エムパイヤ作品  
ボビー・コンクス、ジム・ランズ主演 少年ターザン  
◎問題の軍事映画、小杉勇井井四郎主演 土と兵隊 再上映

**世界館** ◎大谷日出夫、大友柳太郎主演「佐竹義徳」◎松竹超大作、川崎弘子、桑野道子、夏川大三郎共演「日本の妻」  
聚樂館 ◎東寶作品、入江タカ子、大日方傳主演「ぼんを結ぶ夫人」◎R.K.O. 作品「赤ちゃん教育」◎東寶浪曲、漫才、音楽映画、高瀬實乗、藤原釜足主演、天中軒雲月口演のんき横丁」

### 謹賀新年

- 平市役所**  
収入役 西野源次郎  
主事 酒井虎之助  
主事 増田忠  
主事 四家久米治

- 平市工務課員一同**

- 磐城水産工業株式會社**  
小名濱町 電話一四四番

- 堀江工業株式會社**  
平市 電話五一九番

- 平市研 古區長 木澤常松**

- 平電力株式會社**  
平市田町 電話二九六番

- 縣會議員 坂本龜太郎**

- 大日本電力平事務所**  
平市五丁目 電話一五四番

- 福島縣自動車協會 平支所**

- 福島縣平市 十五丁目 平病院**  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
電話六四一番

- 常磐線綴驛前 鐵道公認 日野運送店**

保證 責任 經營 **平果茶商業組合**  
市 場  
平市大町 電話七一四番

トケイ **白寶堂**  
メガネ **シラト時計店**  
平市新川町二三

磐城平市長橋町 **關與三郎**  
電話四四八番

松竹、新興 **世界館**  
電話四四六番

日活、洋画 **平館**  
電話四六六番

東寶映画 **聚樂館**  
電話四七〇番

**平鐵工機械工業組合**  
事務所 平市(電話七〇番)

**磐城建物株式會社**  
磐城平市 電話九六番

クリーニング **永山洗染舖**  
磐城平市大町

平市大町十八番地ノ三 **平市公益質屋**

**金成醫院**(平市録田町)  
電話三五八番

**磐城山萬靈廟**  
石城郡赤井村小川郷驛 田久彌七

砂利採取販賣部 **神谷商店**  
自動車運輸部  
平驛前通 電話六六五番

# 農業方面

## 今秋から國營へ 農産物の検査

今議院に提出

農林省では農産物の國營検査に關する經費五百六十一萬圓の新規要求が大蔵省の査定を終えて農産物検査法案を今議院に提出することになったが大体本年十月一日から實施の豫定である、國營検査の對象となるべきものは米麥及び茶類の三種となつてゐる、このうち米の國營検査については既に大正の末期から必要を痛感し歴代農相が其實現に努力して來たのであるが今回實現の急を要することは實に検査と價格との間に何等の連絡がなかつた點で即ち米穀の價格は國家の手で公定されてゐるが此價格決定の基準となるべき米の等級は府縣検査によつて決定される結果即今の如く米價は殆ど最高價格一本建の様を呈してゐる時に各府縣が米の検査施行に當つて等級の格下げを行ひ從來の二等米を一等米として移出するが如き事態となれば由々敷重大問題となり、さらだに各府縣間にある等級の不均等を助長する傾向となるので斷行されたもので米の國家管理の前提をなしたものであり同じく大蔵省の査定をパスした食糧局の新設と共に米穀國策の態勢が一應整つたわけである、

而して今回の國營検査は現在行はれてゐる府縣検査の移管で検査の品位、依裝、量目などを主眼として行はれることになりはしないが移管によつて受ける影響及び今後問題となるべき諸點は次の如きものとされ特に定數料の決定、依裝の如何などが議會での論争の中心かと見られてゐる、

【検査すべき農産物の範圍】  
現在府縣検査を受けてゐる農産物は米麥をはじめ六十餘種に上つてゐる、米は朝鮮、台灣、滿州では既に検査が國營的に統一されてゐる、農林省が今回米麥及び茶類の三種としたことは暫定的なもので恐らく數年を出でずして他の重要農産物検査も國營化するものと觀測されてゐる、

【米穀の等級整理】米の等級は災害地産米などを考慮にいれ五等級となつてゐるが實際問題としては量がありさへせばよいと云ふ時代で且つ一等米は殆ど僅少なもので大休二、三等級に整理する【標準程度の再検討】府縣別による標準を再検討し全く新しいものを一律に決定する此結果検査が比較的公正を期し得られる、

【米の銘柄整理】公定銘柄は七十一種の多きに達してゐるが品質よりも數量が要求されてゐる場合であるから此際銘柄を整理し最少限に止める、一部には東北、關東、北陸米などの如く大別するのが理想的とも云はれてゐる【検査の様式】米については生産と移出検査の二つが行はれてゐるが當局としては單式に生産者の手を離るゝ場合、検査する立案がある、

【検査手数料】現行のものには米では一俵當り無料から十錢の間であるが國營後は三錢内外に落着かると見られる【米の依裝】重た二重の

となつてゐるが結局は強制検査とならう、  
【麥の一収容量】現行は十二貫、十四貫、十六貫の三種であるが大休十二貫、十四貫の二種とならう(完り)

兩院あるが當局は貯蔵及び運搬の場合を考慮し二重裝一本建とする豫想である  
【小作米の検査】小作米に國營検査を行ふべきか希望検査とすべきか論争の重點

平市長

謹賀新年

衆議院議員

關内正一

縣會議員

入山炭株式会社

石城組合銀行

片倉製糸株式会社

電話八一・八二番

和洋鋼鐵  
金物問屋  
金屋商店  
電話九・九九番

縣會議員

蓮沼龍輔

賣藥化粧品、醫療器械  
星子エンストア一平支部

ホシ薬舗

石城産馬畜産組合長

比佐昌平

衆議院議員

石城郡町村長會長

飯野村長 伊藤淺之助

阿部醫院

院長 阿部瀧藏

有煙無煙石炭業  
木材販賣業  
（磐城市）  
電話六三八

高橋龜松商店

磐城炭礦株式會社 鑛業所

古河炭礦鑛業所

中野科醫院

院長 中野惠次

平製氷株式會社

石城郡四倉町長

新妻盛

製材製園木 佐藤三平商店

本店 石城郡内郷村小島字新町

製材工場 磐越東線赤井驛前

縣會議員 早川清久

石城郡農會長

鷺清昇

日曹鑛業

常磐出張所

石城郡赤井村